

2018年(平成30年)

12月28日 金曜日

〔日11月22日・友引〕

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第39487号

発行所 琉球新報社 ©琉球新報社2018年
〒900-8525 那覇市泉崎1-10-3 電話:098-865-5111

ユース・情報提供
8-865-5158
告のお申し込み
20-43-5059
売・配達の問い合わせ
20-39-5069
社事業案内
8-865-5253
者相談室
8-865-5656

男子決勝 沖縄一富山 緊迫する延長戦、果敢な個人技で勝利を引き寄せるシュートを決める沖縄の親泊寛粹=27日、埼玉県さいたま市のサイデン化学アリーナ(嘉陽拓也撮影)



ハンド中学男子全国3冠

JOC大会 県勢V、富山に28-27

中学ハンドボールの第27回JOCジュニアオリンピックカップ大会の最終日は27日、埼玉県さいたま市のサイデン化学アリーナで男女の決勝を行い、男子の沖縄選抜は延長戦の末に28-27で富山選抜に競り勝ち、7年ぶり7回目の栄冠をつかんだ。チームの主軸を担う神森が春の選抜、夏の全国中学校体育大会を制しており、「黄金世代」とされるチーム沖縄で、県勢による初の年内3冠を達成した。女子の沖縄選抜は愛知選抜に10-14で涙をのんだが、昨年に続き準優勝と健闘。「ハンド王国沖縄」の存在をあらためて全国に示した。(14、15、26面に関連)

嵩西MVP、女子は準優勝

個人表彰で、沖縄選抜男子のGK嵩西颯斗(神森)が最優秀選手賞を獲得。優秀選手に親泊寛粹(同)、オリンピック有望選手に伊禮颯雅(同)が選ばれた。女子優秀選手に名嘉陽菜(美東)、オリンピック有望選手にGK比嘉楓(同)が選ばれた。

男子決勝で勝利の立役者となった一人が嵩西だ。23-23の後半の終盤、富山のロングシュートをはじき、残り十数秒の守備で、サイドシュートを「突っ込んだ体勢だったから下にくる」と読み、腰を低く腕を下げて飛び込み、はじき返した。さえた勝負勘で富山に傾きかけた主導権を奪い返した殊勲の好セーブだった。

友利彬彦監督は自身も神森中時代に全国優勝を経験した。学生スポーツは強いチームが必ず勝てるわけではなく、その苦しさを克服するだけに「どんなにミスをしていても勝てるのが正しい。選手はよく頑張ったと繰り返し、選手らから胴上げされ、満面に笑みを浮かべた。